



## 「自分を愛するよう」

生涯学習事業部 ディレクター 福田奈里子

YMCAでは、毎年2月の最終水曜日に「いじめ」について考え行動する「ピンクシャツデー」運動を全国で行っており、山梨でもここ数年学童に通う子どもたちを対象に様々なイベントを行ってきました。

この運動は、2007年、カナダの学校で起こった出来事がきっかけとなり始まりました。一ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が75枚のピンクのシャツを購入、インターネットで「明日一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校ではこれに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に付けて登校し、学校中がピンク色に染まり、いじめが自然と無くなったそうです。以来、この出来事があった2月の最終水曜日を「ピンクシャツデー」と定め、いじめについて考え、いじめられている人への連帯の意を表す1日となりました。

今年も、山梨YMCAでは2月最終週をピンクシャツ・ウィークとして各事業所で様々な活動を行いました。本館の放課後デイサービスではピンクの小物づくり、学童では多様な価値観を知るワークショップ、また、国際理解教育を取り入れた英語学童保育では、「Stand up and Speak Out」(立ち上がって声をあげよう。)をテーマにしたアクティビティなど、コロナ禍の中ではありましたが、各事業所で工夫を凝らした活動が展開されました。また、全国のYMCA学童の子どもたちのオンラインこども会議も開催され、山梨からも参加しました。

「他者を大切に」「多様性を尊重し」・・・よく聞く言葉ですが、本当の意味でそれを実行することが実はとっても難しいことを、わたしたち大人はよくわかっています。これが実現できていれば、今頃、ウクライナにロシアの爆弾は落ちていなかったでしょうし、ミャンマーの学生たちは自由に意見を交わして、民主主義の恩恵を享受していたことでしょう。口先だけではない本当の意味での他者受容や多様性の尊重はどうしたら実現できるのでしょうか。

「自分自身を愛するように隣人を愛しなさい」(旧約聖書レビ記 19:18)

イエス様はこれが、一番大切な掟だと教えられました。「『自分自身を愛する』って、もっと難しいじゃん!」と、常日頃からモヤモヤ考えている自分がいます。ピンクシャツの真髄はここにあることを直感しながら・・・

ある年のワークショップで、「もしここに、ピンクのシャツを着ていじめられた男の子がいたら、なんて声かける?」という問いに一人の子がこう答えてくれました。

「YMCAへ行こうよ!」

YMCAは自分を愛すること、隣人を愛することを学び、経験し、実践する場です。

## 総主事コラム 空の鳥、野の花 露木 淳司

## 新しいぶどう酒は 新しい革袋に



戦後の焼け野原で産声を上げた山梨 Y M C A は、様々なできごとを乗り越えて、数えきれない多くの人と交わってまいりました。そして、75年もの時を費やし、今ここにある建物とここにいる人々に、その歴史と伝統を受け継いできました。こうした時代の節目に立ち会わせていただき、大切な役目を担わせていただけたことに喜びを感じます。

私は横浜で27年、山梨では14年、合計41年間 Y M C A に奉仕させていただきました。山梨 Y M C A 総主事 在任中の大きな出来事ベスト5 と言えば、福島っ子支援キャンプ、高齢者事業の立ち上げ、公益財団法人認定、チャイルドケア事業の拡充、そして新会館建設です。それぞれ絶妙のタイミングで、必要なだけ、人材、資金、情報が授けられ、そこに至るまで立ちはだかっていた数々の試練から逃れる道が与えられました。まさに奇跡が起こるが如く、一つ一つ夢が実現し

ていったのです。その事実を顧みます時に、やはりそこに紛れもなく神さまの存在を感じざるを得ません。

聖書に、「新しいぶどう酒は新しい革袋に」、という御言葉があります。私は初めのうちは新しいプログラムを立ち上げるにあたり、革袋を新しくすることを怠っていました。つまりそれは人的体制であり、広報戦略であり、施設備品の類であります。その一つ一つが十分に整備されていないのに強引に新しいことをしようとしてしまいました。やがて、多くの人に助けられて、それらのことが整っていきました。将来へつなぐ道は見えています。まだまだ道半ばですが、しっかり光に照らされています。この3月で総主事の任を退くことになりました。これからはチャイルドケア事業部ディレクターの中田純子氏にこのバトンをお渡し致します。新しくなった革袋には新しいぶどう酒を入れなければなりません。新しい会館に相応しい、新しい総主事を皆様、末永くお引き立ていただきますようお願い申し上げます。100周年まであと25年、何人リレーすればよいかはわかりませんが、Y M C A は間違いなくつながっていくでしょう。私も自分のできることをできる範囲でお手伝いさせていただく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## これがないと年は越せないね！

### しめ縄作り (学童・放課後等デイサービス)



12月27日プライムタイム、キッズパラダイス、虹の家、きらきら教室合同プログラム甲府ワイズの渡邊徳之さんと杉田雄二さんを講師に招き、しめ縄作りを行いました。今年で4年目を迎え、毎年経験している子どもは他のお友だちに助言しながら、初めてのお友だちは不安な中でも、渡邊さんや杉田さんに教えて頂きながら完成させました！ 藁を編んでの縄作りではお友達と協力しないと完成する事は出来ません。『がんばれ！』『右にねじるんだよ』等、お友達同士で相談したり、励まし合いながら完成させました。お正月飾りの由来も聞く事が出来、それぞれのご家庭で飾られました。日本特有のお正月文化を肌で感じる貴重な時間です。子どもたちが世界のお友だちに、胸をはって説明できる貴重な体験でした。今後、そのような機会も持ちたいと思います。(平賀 佳雅)



## 楽しさいっぱい！冬三昧！

### 冬の野外活動

この冬の野外活動は年末にスキーキャンプ、年始にわいわい地球塾を行いました。おかげさまで盛況で、かつコロナ渦という不安渦巻く中でも安心安全に行うことができました。スキーキャンプは2年ぶりの復活で、夜に行うレクリエーションやキャンプならではの一体感は代えがたいものがあると感じました。わいわい地球塾もスケート、そり、氷の洞窟探検と冬の魅力を味わうことができました。

withコロナでの野外活動も早く2年が経ちます。皆様のご協力があり、幸いコロナも含め体調不良や大きなけがもなく活動できております。withコロナ3年目はより順応したプログラム内容にしていくべく尽力してまいります。また新年度も皆様とお会いできることを楽しみにしております。(露木 魁人)



## 野外活動 春プログラム

### ○挑戦！乗馬体験！

日時：3月29日（火）

場所：エヘガザル富士山牧場 富士宮市



### ○チャレンジ！マウンテンポート！

日時：3月30日（水）

場所：富士山YMCAグローバルエコヴィレッジ 富士宮



### ○ピカソの卵に挑戦！

日時：4月4日（月）

場所：さがみこプレジャーフォレスト 相模原市 市



### ○森の空中ネット遊びパカブ

日時：3月31日（木）

場所：足柄森林公園 南足柄市



### ○GO！サファリパーク！

日時：4月5日（火）

場所：富士サファリパーク 裾野市



### ○ムーミンバレーに遊びに行こう

日時：4月1日（金）

場所：ムーミンバレーパーク 飯能市



お問い合わせ・申込みは

TEL:055-235-8543 担当：露木魁人まで

## The Voice of Youth

2021年山梨青年春号で「2021年、リーダーとしてどのように歩んでいきたいか」との問いに答えていただいたユースリーダー達です！今回は「2021年度を振り返り、目標達成できたか、また2022年度はどのように歩んでいきたいか」をインタビューしてみました！



ケンケン

僕は、子どもたちのやりたいことを見つける手助けをしたいという思いでこの1年間過ごしました。1年を経て、子どもたちが自分に遠慮なくしたいことを言える関係を築くことができたと思います。（〇〇をして遊びたい、〇〇を作りたい等）ただ、やりたいことというのを見つけても、実現できないことの方が多かったと思います。今度は「どうやったら実現できるか？」という問題を子どもたちと一緒に考えていきたいです。（佐藤 健一朗）

今年1年を振り返り、学びの多い1年となりました。学童では子どもたちとの継続的な関わりは、私にとってとても大きな経験となっています。子どもへの声のかけ方や、話の聞き方、意見の伝え方など関わりの部分で悩むことが多かったです。どうすれば話を聞いてもらえるか、楽しめるかなど考える機会を多く持てました。普段の関わりを通して、子どもたちにとって安心することができる存在になりたいです。（上野 晴香）



ズー



まめちゃん

プライムタイムリーダーになってから1年以上が経ちました。この1年は、子ども一人ひとりの言葉を丁寧に聴くことを意識して子どもたちと関わりました。子どもたちが表現する言葉の背後にある思いを汲み取りながら関わりができるように、今後も努力していきたいです。しばらくはコロナの状況下で不安な日常が続くかもしれませんが、子どもたちが安心感を持って過ごせる場をつくるために励んでいきたいです。（遠藤 節香）

コロナ禍で多くのことが制限されてしまっておりますが、YMCAという存在がみつき、Yでの活動を通してすばらしいつながりを持つことができました。今年度は計画段階に留まってしまったSDGsに関するワークショップを来年度に現実のものとし、より多くの人とつながりを持ち、自他ともによくなっていくことを目指したいです。（菊池 央人）



ひろっち



むらっち

この一年、私は、児童福祉の役割について探求しました。児童福祉とは、人間の自我形成に最も重要な時期に位置する児童に直接的に関わり、日常生活を共にし、社会に出るまでの人生と一緒に歩いていくことだと確認しました。そこで私自身、長い期間の中で子どもの変化を察知し、心のケアや人柄の形成に関わる仕事に就き、地域社会に貢献していきたいと強く感じるようになりました。（松村 広大）

# 各事業所利用者様を募集しております

## 児童発達支援 ぽかぽか教室

070-3953-0309 (担当：守屋)

ぽかぽか教室では、子どもの視線の先に何があるのか、どんなことを望んでいるのか、どうしたいのか等、うまく表現できない子どもの思いや成長への願いを受け止めて、一人ひとりの成長に合わせた関わりを通して発達支援を行えるように努めています。これからも引き続き、「楽しいね」「できた」「体を動かすって楽しいな」「ドキドキするけれど、やってみよう」・・・子どもの様々な思いに寄り添い、共感していきたいと思っております。



## 学童保育 プライムタイム

070-3953-0306 (担当：仙洞田)

「自ら創り出す放課後」をテーマとした学童プライムタイムでは、勉強の時間やおやつ時間は決まっていません。勉強も、遊びも、子どもたちが自分で考えて放課後を作っています。また、ピアノやサッカー、ロボット教室などの教養教室もあり、学童にしながら習い事も選択できます。長期休みには大型バスで外へ出かけて工場見学なども行ったりしています。野外学童の実施を目指しています。



## 英語学童 キッズパラダイス

070-3953-0322 (担当：福田)



山梨YMCAキッズパラダイスは、アメリカ人とカナダ人のネイティブスピーカーの講師が中心となり運営する英語学童です。英語を学ぶのではなく、コミュニケーションのツールとして日常会話で英語を使用し、子どもたちは生活の中で自然と英語を身に着けることができます。また、毎日行っているオリジナルプログラム「Y-Care」では、色々な国を調べたり、国際理解に触れることができるプログラムを実施しています。

## 放課後等デイサービス きらきらプラス

070-3953-0311 (担当：土肥)

学校生活に苦戦している中学生・高校生の居場所や交流の場として、昨年の6月に開設しました。放課後や長期休暇に、一緒に楽しく活動しませんか。普段は、学校の宿題をしたり、ゲームをしったりしています。



- ・場所 甲府市下石田2丁目15-23 南西教室内
- ・活動内容 学習支援、進路相談、交流活動など
- ・活動日時 月～金曜 午後5～7時
- ・対象 近隣の中学生及び高校生、特別支援学校中学部・高等部在籍生徒

## 放課後等デイサービス きらきら教室

今年で5年目を迎え、個別支援、音楽、造形、体育、SST、屋外活動を中心に一人ひとりに寄り添う成長に合わせてプログラムを行っています。「やってみたい」気持ちを形にし、心身共に成長できるよう支援しています。昨年度は出来なかった野外活動、食育活動も行い、様々なことを体験したいと思っております。4月からは新1年生のお友達も増え、ほぼ満員状況が始まります。新たな1年にチャレンジします！（平賀 佳雅）

## 児童発達支援・放課後等デイサービス りんごの木

りんごの木は昨年12月で3周年を迎えました。中央市布施の古民家の庭には四季折々の花が咲き、梅の実、アスパラ、金柑の収穫ができます。夏は近所の井戸で水遊び、冬は庭のクリスマスツリーを飾り付け点灯式を行います。子ども達は五感をフルに使い、伸び伸びと野外活動を楽しみ、心と体の土台作りをしています。体験活動、集団遊び、個別の療育等様々なプログラムを行い発達を促します。これからも地域に根ざし、子ども達、ご家庭の心に寄り添いながら支援していきます。（森 香里）

## 高齢者デイサービスセンター

### ぶどうの木・オリーブの木

055-235-5021/055-234-5321

地域で生活され、障害や高齢・病気により介護や支援を必要としている方の通所施設です。ご家族の介護相談を受け、送迎、個別入浴で安心のお手伝い、各々に合わせた個別リハビリ、美味しい昼食、季節行事や創作活動を通して脳と心身の活性化を図ります。



一人ひとりに合わせた柔軟なサービスを提供しています。経験豊富な専門スタッフ（看護師・理学療法士・社会福祉士・介護福祉士常駐）が心と身体の相談も承ります。（鶴田 和子）

お問合せ・見学、受け付けております。

本部事務所 055-235-8543